

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2018年 6月



ハナモモちゃん

【発行】  
河北新報普及センター  
【協力】  
尚絅学院大 河北仙阪  
【エリア】 名取市内  
【部数】 11,600部  
【電話】 022(266)2991



## 六華亭遊花さん「東北弁落語寄席」

### 巧みな噺 地域わく

### 笑いで住民の健康づくり

●貴重な文化後世に  
5月26日、那智が丘公民館で那智大学開講式と名取市在住の六華亭遊花さんによる「東北弁落語寄席」(那

智が丘公民館主催、みどり台小児科/外科・内科共催)が行われました。この企画は笑いで心身とも健康に、地域を元気にし

ようという趣旨で行われ、那智大学受講生に加え一般の方々も参加、会場は満席の盛況となりました。六華亭遊花さんによる巧みで親しみと温かみのある東北弁による語り口に会場は一気に引き込まれました。

●全て手作りの寄席  
演目は古典落語「転失気」と「家族(原題・表札)」の2題。上方、江戸落語で聞き覚えのある受講生は東北弁で語られる噺に親しみや新鮮さ、ギャップを楽しんで、初めて鑑賞する方たちは次々と転がり続ける情景を頭に浮かべながら夢中で耳を傾け、会場一体となつて大いに笑い、盛り上がりしました。

マクラではレポーターの仕事をした際、標準語ではなく訛って話した方が相手と上手くコミュニケーションが取れたという経験や、昨今の核家族化により若い世代の人達が方言に触れる場が減ってきていることにも触れ、会場は方言という



粘土で作られた造花

貴重な文化を次の世代へ大切に受け継いでいこうと改めて共感していました。

参加した千葉誠一さんは「元々落語が好きで今回初めて東北弁落語を鑑賞した。ズーッと弁に懐かしみ、親しみを覚えた」と話してくれました。

本講座は今年で2回目。会場の設営や当日の運営は地域住人の有志が行いました。舞台上の金屏風は各所でイベント、講演などを企画し、小学校等で工作教室も開く坂本宏一さん。造花は粘土作品を手掛ける「愛好会ルナフローラ」(山田聰子先生指導)の方々が今回の為に制作、それぞれ素晴らしい出来栄で華やかな高座となりました。講演で落語を披露した六華亭遊花さんは「東北弁は面白い。笑いの中で東北弁

を覚えてもらいたい。全て手作りの今回の寄席は地域の皆さんがスタッフで自分たちでつくる落語会という感じがして温かみがあり、ありがたい。これを機会に上方・江戸落語にも興味をもってもらい、今年仙阪に新しくできた常設寄席花座にも足を運んでいただければ幸いです」と話しました。

#### ●認知症予防に効果

今回共催され、地域の活動や講話などをおこなっているみどり台小児科/外科・内科の山口正人院長は「1日3回声を出して笑うと免疫力が高まり、脳が活性化し、認知症やボケ防止にも効果がある。今回の様な機会に大勢の人と一緒に笑って心身とも健康になつてほしい」と述べました。

木下末也館長は「地域の皆さんの協力のおかげで形になり成功し感謝します。笑いは健康のもと、今後もこういった活動を続けていきたい」と話しました。

各方面でご活躍されている六華亭遊花さんですが、今年も名取市各所で講演の予定があります。興味のある方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

また那智が丘公民館でも各種講座、イベント等が予定されています。詳しくはホームページ、市政だより等でご確認ください。

(遠藤 正隆)

## 「里まちなとり〜海、山、街の恵み〜」が「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を受賞

表現文化学科大野ゼミ制作の地域振興ビデオ作品「里まちなとり〜海、山、街の恵み〜」(東北映像フェスティバル2017・映像コンテンツ学生部門大賞)が、平成30年度電波の日・情報通信月間の「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を受賞しました。

記念中央式典が、電波の日である6月1日東京の帝国ホテルで行われ、制作にあたった当時大野ゼミ所属で今年3月卒業の佐藤珠莉奈さんに野田聖子総務大臣より表彰状が授与されました。

受賞した作品は、写真の下に記載された、アドレスからご覧いただけます。



<https://youtu.be/pkZqCZK981Q>

# 名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く 尚綱学院大と片浜屋コラボ弁当「花の彩」

## 彩食兼備 笑顔咲く

黄、緑、ピンクの鮮やかな彩りー。お弁当から華やかな雰囲気が出てきます。

季節のお弁当「花の彩」、第1弾は「春」をイメージ。炊き込みご飯の上には、彩り豊かな野菜などが散りばめられ、今にも踊り出しそうです。

尚綱学院大とスーパー片浜屋が共同開発した「花の彩」が6月18日、発売されました。「これまでにない彩りよい、美味しい、新しいメニュー」がコンセプト。産学共同で地域住民に食の美味しさを提供します。

調理レシピ監修は健康栄養学科の片山一男教授。病院で栄養士をしていた経験があり、栄養のバランスと食の安全にも気配りした魅力たっぷりの一品です。「花の彩」のラベルやパネルは、表現文化学科の学生がデザイン。片山教授がにっこり笑った似顔絵が描かれ、ぬくもりが感じられます。

お弁当は、大きめの焼き豚が入った炊き込みご飯に、黄色の銀杏、緑の枝豆、ピンクのえびが華やかさを演出。ご飯にしっかり味がついており、噛むほどにおいしさが広がります。食べ応え十分で、副菜をつけると、栄養価が一段と高くなるそうです。陳列している「花の彩」の脇に、惣菜コーナーがあるので、ぜひご利用を！

お弁当はスーパー片浜屋ゆりが丘店で製造し販売。価格は398円(税別)で、地域住民に親しまれるお弁当になったのではないのでしょうか。地域への思いを込め、大学とスーパーが力を合わせて開発した一品。お弁当の美味しさと華やかな彩り、二重の喜びを味わってください。



尚綱学院大と片浜屋コラボ弁当「花の彩」

販売：片浜屋ゆりが丘店  
営業：10時～21時

名取市ゆりが丘 4-2-1 022-226-7992

### 生産者と地域の語らいの場

#### 学生団体「ヒトノワ」が企画

7月6日(金) 11時～13時、尚綱学院大キャンパス多目的ホールで「しようけい語らいマルシェ」が開催されます。「しようけい語らいマルシェ」とは、昨年度から始まった事業で、生産者や企業の方などの出店者と、学生や地域住民などの来場者が語り合う市場として、これまで学内外で5回、学生団体「ヒトノワ」による企画として行われていました。学生団体「ヒトノワ」は、生涯学習や地域連携などを学ぶ学生たちで、その学びの実践として、企画運営さ

れています。出店団体は、名取市内の生産者を中心に、仙台市や岩沼市など宮城県内、山形県や福島県からも出店していただく予定です。前回の5月10日に行われた、今年度1回目のしようけい語らいマルシェには、あいにくの天候にも関わらず、学生や地域の方々が大勢来場しました。皆様のご来場を心よりお待ちしております！



#### 6月号 プレゼント企画

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。プレゼント企画として「東北楽天・河北新報コラボオリジナルタオル」を3名へプレゼント！住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で左記まで。7月8日締切。

【住所】〒980-0022 仙台市青葉区五橋1の1の10  
【FAX】227-8333  
「KFCハナモモ通信プレゼント」係。

メール：hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp